

旧佐藤家住宅の概要

旧佐藤家住宅は、江戸時代中期(18世紀中頃か)の当地域における典型的な農民の住居です。

昭和47(1972)年、創建当時を復原することのできる貴重な建造物であることから、県の重要文化財(建造物)に指定されました。

当時は、現在の国見I.C.付近(小坂字木八丁地内)に所在していましたが、東北自動車道建設のため転居した所有者より町に寄付され、住民の協力を得ながら現在の場所に移築・復原されました。

屋内は、窓が少ないため薄暗く、曲がった材木が柱や梁に多く使用されているのが特徴です。間取りは、板敷きの三間と土間の単純なものでした。

- 【構造】** かやぶき よせむね 萱葺寄棟造り屋根、みつまど 広間型三間取り(なんど・ざしき・なかのみ)
【規模】 けたゆき 桁行(間口)13.8m、はりま 梁間(奥行)6.22m、面積86.17㎡

ご利用案内

- 開放時間 午前9時～午後5時まで
- 休館日 毎月第1月曜日(ただし休日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
※維持管理作業(燻蒸など)で見学できない場合があります
- 観覧料 無料
- 所在地 福島県伊達郡国見町大字藤田字観月台15
(観月台文化センター内)
- アクセス 車/東北自動車道国見I.C.から約5分
電車/JR東北本線藤田駅から徒歩約10分
- 問合せ先 国見町教育委員会生涯学習課
Tel.024(585)2676 Fax.024(585)2707

